



2015横浜市ミニバスケットボール連盟 決勝大会 戦評

男子準決勝 菊名66 vs 46 鳥が丘

1Q

菊名は⑥のドライブから⑦のポストプレイで先制すると⑦45°からのドライブ、⑦ゴール下、⑦のリバウンドシュートと連続得点でリードを広げる。対する鳥が丘は、⑪がミドルを決めるが菊名⑦の力強いディフェンスリバウンドから⑥が速攻を決め、10 - 2となる。ここで鳥が丘はタイムアウト。タイムアウトあけ、鳥が丘は外のシュートを狙うが、菊名⑦を中心としたオフェンスが効果的に決まり16 - 4菊名リードで終了。

2Q

1Q同様、高さで勝る菊名はミスマッチを有効に使いオフェンスを組み立てる。対する鳥が丘は⑦の巧みなドリブルワークからミドルやドライブをねらいオフェンスを組み立てる。両チームのキーとなる選手がたがいに点を取り合うが、菊名が18点とリードを広げ、32 - 14で前半を終える。

3Q

菊名は⑦のゴール下でリードを20点とするが、鳥が丘は⑤⑦を中心に速い展開から得点を取りに行く。菊名の高さに対し、ミドルやバックボードを使ったフローターのシュートを連続して決め、点差をつめる。

48 - 31。17点差で最終クォーターへ。

4Q

3クォーター同様、菊名はインサイドを中心に、鳥が丘は速い展開から、アウトサイドを中心に点を取り合う。

鳥が丘は⑤⑦がミドルシュート、フローターを高確率で決め、会場を沸かせる。

一方菊名は、鳥が丘のマンツーマンディフェンスに苦しみながらも、⑦がボールを繋ぎながらゲームをコントロールし、ペイントエリアで確実に得点を積み重ねて行く。

最終的には66 - 44、22点差で菊名が勝利を収め、決勝へと駒を進めた。





2015横浜市ミニバスケットボール連盟 決勝大会 戦評

男子準決勝 川上北 47 vs 34 さちが丘

1Q

川上北ボールで試合はスタート。

川上北は④のジャンプシュートを中心に得点を重ねていく。

対するさちが丘は⑤を中心としたオフェンスで対抗する。

両チームエースの打ち合いの展開だったが、DFから流れをつかんだ川上北が14-10とリードを作り1Q終了。

2Q

開始早々激しいDFから川上北が連続得点を上げる。

さちが丘はT.Oを取るも、川上北のDFに苦戦し思うように攻めることができない。

川上北はこのクォーターを15-4とし、リードを広げ（29-14）前半を終えた。

3Q

点差を縮めたいさちが丘は⑤を中心としたOFで反撃する。

しかし、川上北もDFに集中し、簡単に得点を許さない。

さちが丘は積極的に攻めるも、点差は縮まらず

川上北がゲームをコントロールし、37-20で3Q終了。

4Q

さちが丘は追い上げを見せるも、焦りからかミスが目立ち、なかなかリズムに乗ることが出来ない。

川上北はシュートを入れ返し、リードをキープ。

終始ゲームをコントロールした川上北が47-34で決勝にコマを進めた。





2015横浜市ミニバスケットボール連盟 決勝大会 戦評

男子決勝 菊名 54 vs 46 川上北

1Q

固いディフェンスで菊名の攻めを封じ、⑫のリバウンドシュートで先制点を取った川上北。④がコントロールしながら、積極的にゴールを狙う。

菊名は⑦ヘボールを集め、ゴール下シュートで確実に点を重ねた。互角の戦いから、先に流れを掴んだのは菊名。

⑦のリバウンドシュート、⑫のミドルシュートで一気に点差を広げる。ミスが続き、苦しい展開の川上北。

しかし、激しいディフェンスでボールを奪い、⑭が3点プレーを見せ食らいつく。16 - 9。菊名リードで1Q終了。

2Q

積極的にゴールへ向かう両チーム。菊名は⑥のドライブ、⑬のリバウンドシュート、⑭のミドルシュートと確実にシュートを決め、点差を広げる。

10点差を追いかける川上北。⑤のドライブ、⑨のゴール下シュート、そして立て続けにパスカットからの得点を上げ、一気に4点差まで詰め寄る。

菊名のタイムアウト後も川上北の勢いは止まらず、⑤のナイスパスを受けた⑨がシュートを決め同点。菊名も負けじと、⑩、⑬のシュートで再度突き放す。

残り1 : 14で川上北タイムアウト。最後は川上北⑤が技を見せ、29 - 29。同点で2Q終了。

3Q

序盤、川上北のナイスディフェンスに苦しむ菊名。川上北⑦のゴール下シュートで点が動き出す。

菊名は⑤がミドルシュート、⑦がゴール下シュートを決める。すかさず、川上北は④と⑤がシュートを決め逆転。

一進一退の展開を打ち破ったのは菊名。ラスト1分、⑤がパスカットからのドリブルシュート、

最後は⑦のリバウンドシュートで点差を4点にし、37 - 34で3Q終了。

4Q

最初の得点は菊名⑦。その後、川上北④のフローター、菊名⑩のドライブ、川上北⑦のゴール下、

菊名⑦のリバウンドシュート、川上北⑤のミドルシュートと、白熱したシーソーゲームが続く。

川上北④がディフェンスリバウンドから一気にドリブルで攻め、点差を2点に縮めるが、

すぐさま菊名⑦がゴール下の力強いプレーで4点差に戻す。

なかなか点差が縮まらないまま、残り52秒で川上北タイムアウト。

最後は菊名が⑤のタップシュート、⑦のリバウンドシュートを決め、54 - 46。

菊名の勝利。決勝戦に相応しい見どころ満載の素晴らしいゲームだった。





2015横浜市ミニバスケットボール連盟 決勝大会 戦評

女子準決勝 六浦南 33 vs 40 川上北

1Q

六浦南④がジャンプシュートを決め先制する。六浦南はインサイド⑥にボールを集め、果敢にゴールを狙う。川上北は④を起点とし、アウトサイドからのロングシュート、ドライブインからのゴール、アシストと多彩な攻撃でゴールを狙う。両チーム一進一退のゲーム展開となる。六浦南 8 - 10 川上北で 1Q 終了。

2Q

開始 1 分、両チーム共にゴールを決められない展開が続く。川上北⑧のアシストから⑦シュートに対し、六浦南からファウルを得て⑦のフリースローで点数が動き始める。その後も川上北⑧を起点とする攻撃で川上北が加点を続ける。六浦南は⑤のインサイドを中心にゴールを狙い、⑦の⑤の加点で応戦する。六浦南 14 - 20 川上北で前半を終える。

3Q

川上北④のアウトサイドシュート、インサイドへのゴールアタックからの得点を増やし、川上北のペースでゲームが展開し得点差を広げていく。一方、六浦南もインサイド、アウトサイドから果敢にゴールを狙うが、川上北の執拗なディフェンスに押さえられ、⑦の 1 ゴールのみとなり、川上北が大きくそのリードを広げ、3Qを終える。六浦南 16 - 32 川上北

4Q

六浦南が⑤⑥のインサイド、ディフェンスリバウンドからの速攻等、インサイドを起点とする攻撃で開いた点差を徐々に詰め始める。川上北は④の速攻、⑧のドライブイン等で加点していく。このクォーターで 17 - 8 と六浦南が大きく詰め寄るが、3Qで大きく差を広げた川上北が決勝進出を決める。六浦南 33 - 40 川上北





2015横浜市ミニバスケットボール連盟 決勝大会 戦評

女子準決勝 戸塚 30 vs 18 東希望が丘

1Q

戸塚ボールにてスタート。開始早々お互いの激しいマンツーマンディフェンス、戸塚④が果敢にドライブインを仕掛ける東希望が丘は⑦のインサイドにボールを集めるがお互いにシュートが決まらず、3分間両チームともノーゴール。最初の得点は戸塚⑥ミドルシュート、続けざまにドライブインからのストップシュートと連続得点。東希望が丘も早いボール回しからのミドルシュートで応戦するが得点できず。1Q終了間際にまたしても戸塚⑥のミドルシュート、ブザーと共にシュートが決まり1Q終了。戸塚の粘り強いディフェンスとスクリーンアウトでこのQを有利にすすめた戸塚ペースで1Q終了。(戸塚6 - 0 東希望が丘)

2Q

戸塚ボールスタート、このQ最初のゴールは戸塚⑩のドライブインからファールをもらいフリースロー、2本とも確実に決める。一方、東希望が丘は⑫のドライブインからのジャンプシュート初得点をあげる。その後1Q同様お互いのディフェンスを攻めきれず得点が動かない。残り時間2分を切ったとき、戸塚⑩のドリブルカットから⑤へ速攻がきまる。その後も戸塚の早いトランジションから⑤がドライブインで得点を重ねる。東希望が丘も⑤のパスカットから速攻レイアップに行くが決まらず。残り0 : 15で東希望が丘タイムアウト。ナンバープレーにより⑤がフリーになりミドルシュート見事に決めた所で2Q終了。戸塚のスピードが目立ったQとなり、戸塚ペースで終了。(戸塚12 - 4 東希望が丘)

3Q

東希望が丘ボールスタート、後半の先制ゴールは戸塚⑤のミドルシュート。東希望が丘も⑤のミドルシュート惜しくも外れるが⑦のリバウンドシュートで応戦。その後も戸塚は⑥、⑩のドライブインからジャンプシュート、⑤への合わせ等多彩な攻めを見せる。一方東希望が丘も、⑤の1対1、パッシングからのミドルシュートなどで得点をあげる。このQも戸塚の徹底したスクリーンアウトによるリバウンド力とトランジションの早さにより、戸塚ペースで進んだ。(戸塚22 - 10 東希望が丘)

4Q

戸塚ボールスタート、戸塚は相変わらず④、⑥のドライブインからの合わせにより得点を重ねる。追い上げたい東希望が丘は⑤のミドルシュートを川きりに、ディフェンスもリズムが良くなり⑦パスカットからの速攻、④、⑤のミドルシュートが決まり連続得点により6点差まで縮める。直後に戸塚⑩がゴール下を決め差が広がる。1 : 29戸塚8点リードで東希望が丘タイムアウト。再開後、東希望が丘はオールコートディフェンスで果敢にトラップを仕掛けるが、戸塚のガード陣は慌てず早いパス回しでノーマークを見つけ得点に繋がったところで、タイムアップ (戸塚 30 - 18 東希望が丘) 戸塚は徹底したスクリーンアウトと早いトランジションによりペースをつかみ、決勝戦に進んだ。





2015横浜市ミニバスケットボール連盟 決勝大会 戦評

女子決勝 川上北 35 vs 34 戸塚

1Q : 川上北(④,⑥,⑩,⑫,⑬)、戸塚(⑤,⑦,⑩,⑪,⑬)

西部地区1位の川上北と2位の戸塚の戦いは、決勝大会でも注目の一戦となった。

先制点は川上北。川上北④から見事なリードパスをもらった川上北⑬が落ち着いて得点を決めた。対する戸塚もすぐに⑩のドライブからのストップジャンプシュートで得点する。両チーム、早い展開のオフェンスが続く中、川上北④の速攻からのドライブインや、川上北⑩のリバウンドシュートなどで得点を重ねる。一方、戸塚も⑤のロングシュートやミドルレンジのジャンプシュートで得点を重ねリードを渡さない。残り18秒、戸塚は⑦がゴール下でファールをもらう。落ち着いてフリースロー2本決め、10-8で戸塚リードで1Q終了。

2Q : 川上北(⑤,⑦,⑧,⑨,⑪)、戸塚(④,⑥,⑧,⑨,⑫)

開始早々、川上北の⑧の見事なミドルシュートが決まり同点に持ちこむ。対する戸塚も④の鋭いドライブシュートが決まり、再びリード。

高さを生かしたい川上北は、インサイドにボールを集めるが、戸塚の粘り強いディフェンスに苦む。川上北はリズムを作ろうと、オフボールの選手がよく動きオフェンスを展開する。川上北⑧のフリースローや川上北⑦のスティールからの得点のなどで、着実に得点を重ねる。対する戸塚も⑥の連続得点で得点を重ね、前半終了時16-15で戸塚が1点リードで後半を迎える。

3Q : 川上北(④,⑤,⑥,⑦,⑫)、戸塚(④,⑤,⑥,⑩,⑪)

後半の先制点は川上北。川上北⑦がハイポストでボールをもらおうと、ローポストでタイミングよく川上北⑤が合わせて得点。

後半、これでリズムを掴んだ川上北は、続けて川上北⑦がハイポストからのジャンプシュートやゴール下の力強いプレーで得点を重ねる。

対する戸塚はシュートが中々決まらず苦しむが、ゲームタイム3分切ったところで⑤が速攻から見事なステップインで後半最初の得点を決める。

リズムに乗りたい戸塚だが、川上北の⑧の見事なアシストから川上北⑤,⑥,⑦などが得点を重ねリードを広げた。

27-20で川上北がリードして3Q終了

4Q : 川上北(④,⑤,⑦,⑧,⑫)、戸塚(④,⑤,⑥,⑩,⑪)

最終クォーター、戸塚は早い展開のオフェンスで勝負を仕掛ける。戸塚⑥がハイポストからのジャンプシュートで得点し差を縮める。

リズムが戸塚にきたところで、続けて戸塚⑤から⑪へ見事なアシストが決まり、バスケットカウントをもらう。会場が一気に盛り上がり、

戸塚のペースになりかけるが、川上北の⑦が冷静にハイポストからドライブを仕掛け得点を決める。一進一退の攻防が続くなか、

残り1分6秒のところで、戸塚がタイムアウトを取る。追いつきたい戸塚は、⑤のリバウンドシュートで得点を重ねるも、

川上北は④と⑧の落ち着いたゲーム運びで、戸塚の追い上げを許さなかった。35-34で川上北が見事勝利を収めた。

